

浦和駅周辺のまちづくり News Letter 第4号



本号のトピック

- ◆ 浦和駅周辺のまちの歴史
- ◆ ウォーク・イン・中山道浦和宿 改訂版
- ◆ 県都 浦和
- ◆ コラム 大学生が浦和を考える Vol.2



表紙：昭和34年2月の鳳翔閣

# 浦和駅周辺のまちの歴史

世界のできごと

日本のできごと

浦和駅周辺などのできごと

|  |  |  |   |   |  |   |  |                                  |
|--|--|--|---|---|--|---|--|----------------------------------|
| 14世紀   | 12世紀   | 10世紀   | 7世紀   | 5世紀   | 紀元後  | 前3千年前   | 前300万年前                                      |                                  |
| <p>イギリスとフランスの百年戦争がはじまった。</p> <p>ヨーロッパではルネサンスが高まった。</p> <p>大航海時代が始まった。</p>    | <p>十字軍の遠征がはじまった。</p> <p>12世紀のルネサンスと呼ばれるヨーロッパの文化的革新が生じた。</p>              | <p>イングランド王国がおこった。</p> <p>高麗が朝鮮半島を統一した。</p> <p>神聖ローマ帝国ができた。</p> <p>バイキングがアメリカを発見した。</p> | <p>ササン朝ペルシアが滅び、イスラム帝国が大きくはじまった。</p> <p>新羅が朝鮮半島を統一した。</p>    | <p>ケルト民族の大移動がはじまった。</p> <p>メキシコにマヤ文明がおこる。</p> <p>隋が中国を統一した。</p> | <p>秦の始皇帝が中国を統一した。</p> <p>ローマの帝政がはじまった。</p> <p>中国の蔡倫が紙を発明した。</p> <p>中国の三国時代（魏、呉、蜀）。</p> | <p>メソポタミアに文明がおこる。</p> <p>エジプトでクフ王の大ピラミッドがつくられた。</p> <p>第一回オリンピックがギリシアのオリンピアで開かれた。</p> | <p>人類が誕生した。</p>                              |                                  |
| 南北朝・室町時代   | 鎌倉時代   | 平安時代   | 奈良時代  | 飛鳥時代  | 古墳時代   | 弥生時代  | 縄文時代   | 旧石器時代                            |
| <p>足利尊氏が幕府をひらいた。</p> <p>雪舟が水墨画「山水長巻図」を描いた。</p> <p>フランシスコ・ザビエルがキリスト教を伝えた。</p> | <p>源頼朝が征夷大将軍となり、御成敗式目がおきた。</p> <p>文永の役がおきた（元寇）。</p>                      | <p>平安京に都を移した。</p> <p>「枕草子」清少納言、「源氏物語」紫式部がつくられた。</p> <p>藤原道長が摂政となった。</p>                | <p>平城京に都を移した。</p> <p>聖武天皇が位についた。</p> <p>「万葉集」ができた。</p>      | <p>聖徳太子が憲法十七条を制定した。</p> <p>大化の改新がはじまった。</p>                     | <p>蘇我馬子が物部守屋を滅ぼした。</p> <p>大和朝廷に日本が統一される。</p>   | <p>稲の耕作がはじまった。</p> <p>邪馬台国の卑弥呼が中国の魏に使者を送り、「親魏倭王」の称号と印綬を授かる。</p>                       | <p>土器の使用が始まった。</p> <p>集落が大きくなり、定住がはじまった。</p> | <p>日本に人が住みはじめ、狩り・漁・採集の生活をする。</p> |
| 1395   | 927  | 939  | 7世紀   | 5世紀   | 450年   | 3000年   | 5万年前   |                                  |
| <p>足利尊氏が佐々目郷（現在の南区内谷、曲本、沼影、松本及び戸田市の一部）領家職を鶴岡八幡宮に寄進した。</p>                    | <p>この年にできた延喜式の神名帳に氷川神社、調神社などの名がみられる。</p> <p>939 平将門反乱、この後足立郡司武蔵武芝失脚。</p> | <p>大久保、土合地域に古墳が築かれた。</p>   | <p>このころ、土器を作り使うようになった。</p> <p>このころ、奥東京湾が入り込み、各所に貝塚ができた。</p> | <p>このころ、浦和に人が住みはじめた。</p>  |  |   |  |                                  |



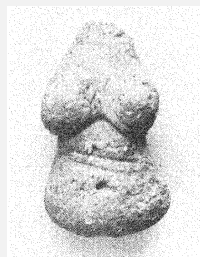
◀二七の市場跡の市神と定杭<常盤・慈恵稲荷社>定杭には天正18年(1590)7月の年月が刻まれています。

この年は、豊臣の軍勢が小田原や岩槻の諸城を攻め落とした年で、秀吉の武将浅野長吉は、このとき、浦和の市を在来どおり開設することを認める文書を出しています。



日本一小さな土偶  
<松木遺跡出土／縄文時代前期>  
高さ2.7cm

◀円正寺発見の縄文人頭蓋骨からの復顔<縄文時代前期>壮年の女性です。保存が良くDNA鑑定もできました。



▲貝塚の様子(上)  
たて穴住居跡の中に積もっている様子  
▲発見された貝殻(下)  
<太田窪貝塚／縄文時代前期>

第4号からは、(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(案)で、検討した内容等をテーマにしていきたいと思います。現在の浦和駅周辺ができた背景には、様々なまちや人の歴史がありました。第4号では、骨子(案)「まちの魅力・価値」(浦和プライド)につながっていった、まちのできごとを振り返ります。第4号では、骨子(案)「まち(骨子) (案)」は、市民や事業者等の皆さんからのご意見を募集しています。くわしくは7頁をご確認ください。

16世紀  
イギリス艦隊がスペインの無敵艦隊をやぶった。  
イギリスが東インド会社をつくった。

18世紀  
中国で明が滅び清の時代となる。  
ニュートンが万有引力の法則を発見した。  
イギリスで名誉革命がおこった。  
ワットが蒸気機関を発明した。  
アメリカ合衆国が独立宣言。  
ナポレオンがフランスの皇帝に  
世界初の鉄道がイギリスで開通  
英国のサッカー協会が設立  
アメリカで大陸横断鉄道が完成  
ドイツで電気が紹介された  
日本にサツカーが紹介された  
(といわれている)。

19世紀  
産業革命が進み近代的な国家へ。  
ベルが電話を発明した。  
自動車が発明された。  
エジソンが映画を発明した。  
キュリー夫人がラジウムを発見。

20世紀  
第一次世界大戦がはじまった。  
国際連盟ができた。  
世界ではじめての社会主義国のソ連が成立した。  
アメリカから世界的な経済不況の大恐慌がはじまった。  
第二次世界大戦がはじまった。  
国際連合ができた。  
人類がはじめて月に着陸した。  
ヨロップが60億人を超えた。  
世界金融危機がおきた。  
先進国と新興国の首脳会議G20サミットが初めて開かれた。

21世紀  
新型コロナウイルスが全世界で大流行。

戦国・安土桃山時代  
室町幕府が滅んだ。  
織田信長が安土城下に楽市楽座令を出した。  
豊臣秀吉が全国を統一。  
関ヶ原の戦い。

江戸時代  
徳川家康が江戸幕府をひらいた。  
徳川綱吉が鎖国令を出した。  
徳川綱吉が生類憐みの令を出した。  
昌平坂学問所(近代教育発祥の地・湯島聖堂)ができた。  
町問や浮世絵、歌舞伎が盛んに。  
ペリール来航(翌年、開国)。  
徳川慶喜が大政奉還し、江戸幕府が滅んだ。

明治時代  
明治維新が行われた。  
廃藩置県が行われた。  
新橋と横浜の間に鉄道が開通。  
学制発布(近代的な学校制度を定めた基本法令)。  
福沢諭吉「学問のすすめ」出版。  
内閣制度ができ、伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した。

大正時代  
大日本帝国憲法が公布された。  
日清戦争がはじまった。  
日露戦争がはじまった。  
第一次世界大戦に日本も参戦。  
関東大震災がおこった。  
ラジオ放送が開始された。

昭和時代  
ポツダム宣言を受託した。  
日本が国際連合に加盟した。  
オリンピックが東京大会が開催。  
日本の総人口が1億人を超えた。

令和時代  
新型コロナウイルスの感染拡大。  
東京オリンピックが開催。

1590 浦和の市に対する禁制及び軍勢乱妨の禁制を出す。徳川家康は浦和額一万石を高力清長に預ける。徳川家康は水川女体神社・玉蔵院などに寺社領を寄進する。

1604 中山道に一里塚を築く。  
1609 中村吉照は主君高力清長の追福のために廓信寺を建立した。  
1629 伊奈忠治は八丁堤を築いて見沼溜井を造る。  
1633 浦和付近が紀州侯鷹場となる。  
1669 浦和に三十六歌仙絵が寄進される。  
1733 調神社に三六歌仙絵が寄進される。  
1780 玉蔵院地蔵堂が建立された。

1868 武蔵県設置、明治天皇が水川神社参拝のため浦和郷学校へ宿泊した。  
1870 浦和郷学校(現高砂小学校)が開校される。  
1871 浦和県を廃し、埼玉県を設置した。  
1873 旧本陣内に改正局(師範学校前身)を開設。  
1878 浦和警察署が開署した。  
1883 高崎線上野(熊谷間)開通、浦和駅営業開始。  
1888 裁判所等も含め浦和の約半分が焼失。  
1900 福原電外が師範学校教諭(図画)に。  
1904 埼玉電灯(株)により、はじめて電灯がともる。  
1908 細木志朗が師範学校教諭(蹴球部創設)。  
1910 浦和特設電話が開通した。

1914 浦和簡易図書館が開館した(玉蔵院そば)。  
1916 町立公会堂が完成(現仲町公民館の場所)し、恭慶館と命名された。  
1934 市制施行がされた。  
1939 埼玉大学が設置された。  
1949 浦和駅西口市街地改造ビル、ゴルフ・伊勢丹が同時オープンした。

2001 人口103万人のさいたま市が誕生した。  
2003 政令指定都市のさいたま市が誕生した。  
2014 若田光一氏が日本人初国際宇宙ステーション船長に就任した。  
2016 さいたまトリエンナーレ2016が開催。

2020 新型コロナウイルスの感染拡大。  
2021 東京オリンピックが開催。

◀当時の面影をとどめる中山道の松並木 (北浦和付近・大正10年(1921)頃『埼玉県写真帖』より)



◀昭和37年(1962) 浦和駅西口



昭和39年(1964)6月 ▶ 旧中山道 浦和銀座



もっと詳しい歴史を知りたい方は、P7の参考文献等又は浦和市史をご覧ください！



まちの歴史をウォーキングで楽しみみたい人におすすめの一冊

# ウオーク・イン・中山道浦和宿 改訂版

浦和駅西口を出ると、交通の南北軸である中山道があります。

ウォーク・イン・中山道浦和宿（改訂版）は、江戸時代中山道浦和宿の、今に残る史跡、社寺、見所を中心に紹介するもので、蕨宿から大宮宿へ向けて歩く形になっています。冊子から一部抜粋してご紹介します。

ウォーク・イン・中山道浦和宿  
（改訂版）  
令和3年3月15日発行  
編集 さいたま市立浦和博物館  
発行 さいたま市立博物館



埼玉県師範学校発祥地の碑

東和銀行浦和支店の前には、「埼玉県師範学校・埼玉県医学校発祥之地」の石碑があります。明治7年(1874)に師範学校が、翌8年に医学校がこの地に設置されたことを示しています。

しかし、師範学校は明治11年(1878)に現在の埼玉会館の地に移転し、医学校は翌12年に廃校になり、この地にあったのは、5年たらずでした。

## 埼玉県師範学校



明治11年に新築された師範学校校舎は開校直前、明治天皇の地方巡幸の際に行在所として使用されるに当たり、太政大臣三条実美によって「鳳翔閣」と命名されました。木造2階建て、床面積1,498㎡。中央部分（胴部）に翼棟部が繋がれた全長67.3mの細長い左右対称の建物で、計12室を備えていました。

ここで注目したいのは、その優れた洋風建築の技術です。切妻屋根庇をかけたバルコニーを設ける形式はギリシャ・ローマ建築の意匠を示し、またバルコニーの柱にあるアカンサスの葉形の彫刻は、日本では日本銀行本店、赤坂離宮（迎賓館）などの明治から昭和初期の洋風建築に見られるものです。

その後、師範学校は明治33年(1900)に現在のさいたま市役所の地に移転、残された校舎（鳳翔閣）は埼玉県高等女学校・女子師範学校の校舎となりました。さらに大正14年(1925)には北に移動して改装され県立図書館となりましたが、昭和34年、老朽化のため取り壊されました。2代目の県立浦和図書館も平成27年に閉館され、跡地は現在埼玉会館広場となっています。そこには、行在所跡と浦和一女発祥の地を示す碑があり、歴史を今に伝えています。

この鳳翔閣は、さいたま市立浦和博物館の建物として胴部外観が忠実に復元され、今も目にすることができます。



浦和博物館



アカンサスの葉形の彫刻



開校当時の鳳翔閣



浦和博物館  
に関する市HPは、  
こちら



景観重要建造物  
に関する市HPは、  
こちら

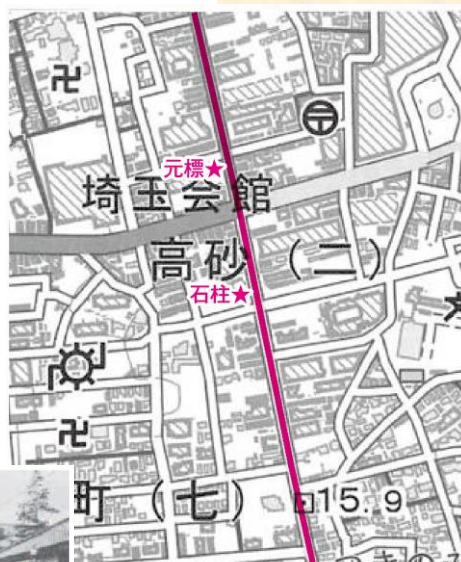
News!

## 浦和博物館が、第10号景観重要建造物に

景観重要建造物は、地域の個性ある景観づくりの核として、その維持、保全及び継承を図るもので、「明治初期日本の洋風建築の外観」、「建物内部・外構での景観配慮」、「浦和のまちにおけるシンボル性」などを評価し、令和4年2月に指定しました。

明治の学校を想像しながら、先に進むと、食欲をそそる香りが鼻に…、そう、うなぎの蒲焼の老舗があります。浦和はうなぎの町として有名です。店によると、江戸時代創業と伝える老舗を始め、蒲焼を食べられる店が多くあります。

蒲焼の店を過ぎた交差点の先、きれいな歩道の上に「中山道浦和宿」の近代的な石柱が見えます。交差する整備中の道路は、さいたま市の都市計画道路「田島大牧線」で、浦和駅周辺の東西交通の便をよくし混雑緩和を図るため、道路の新設拡幅が進められています。完成すれば片側2車線の幅広い道路が中山道とここで交差します。



中山道浦和宿の石柱



中山道 (昭和9年)



現在のさいたま市立高砂小学校

道を右に進むと間もなく、白い塀に囲まれた建物が目を引きま。それは、学制発布前の明治4年(1871)創設の浦和郷学校からの伝統を誇る、さいたま市立高砂小学校です。

中山道の石柱から北が高砂、つまりここが江戸時代の浦和宿の入口です。浦和宿は板橋、蕨に次ぐ中山道第3番目の宿場で、その範囲は現在の高砂・東高砂、仲町・東仲町、常盤の地域にあたり、当時はそれぞれ下町(または下宿)、中町(中宿)、上町(上宿)と呼ばれていました。天保年間(1830~1844)には、この浦和宿に273軒、1,230人が暮らしていたという記録が残っています。当時の人々は主に農業を営み、五穀のほか野菜などを作っていました。農業のほか旅籠や茶店、諸々の商売を営み、中山道に面したところに店・屋敷を構え、その裏が田畑・林などになっていました。



溪斎英泉画「支那路ノ駅浦和宿浅間山遠望」



復元道路元標 (当初は大正11年)

県庁通りとの交差点付近から先が浦和の一番の繁華街、銀行や商店が軒を連ねるとともに近年は中高層の集合住宅も増えています。

県庁通りの交差点を右折するとJR浦和駅、左折すると埼玉会館、埼玉県庁へと続きます。浦和駅は、明治16年(1883)上野・熊谷間の鉄道開通とともに「浦和停車場」として開設され、現在の駅舎は4代目となります。

一方、現在の埼玉会館は2代目の建物で、東京文化会館等の設計で著名な前川國男の作です。北浦和公園にある黒川紀章設計の埼玉県立近代美術館とともに、浦和にある現代建築の名作といえるでしょう。県庁は、明治2年(1869)に浦和県の庁舎が置かれて以来この台地上にあります。

中山道を直進します。次に交差するのがタイルを敷き詰めた「さくら草通り」です。現在は、駅前のコルソと埼玉会館を結ぶ通りですが、中山道と駅の間は、浦和駅が設置された時にできた道で、はじめは「停車場通り」、浦和郵便局が開設されてからは「郵便局通り」と呼ばれていました。中山道との交差点脇には大正11年(1922)の道路元標も復元されています。

# 浦和御殿と常盤公園

ついで、昭和51年、ここに面積約1万㎡の常盤公園が、住宅街の中の貴重な憩いの場として開園しました。園内には緑地や滝の流れる池などのほか、大正14年(1925)にこの近くに幼稚園を設立した教育者・児童文学者長沼新平(依山)の童話碑などがあります。常盤公園は、バリアフリーへの配慮と防災機能の向上を図るため令和元年度から4年度の予定で改修工事が進められています。

道沿いにわずかに残る歴史ある木造建築を見付けながら北へ進むと、間もなく左側に、野菜を売る女性の彫像が目にとまります。ここが「市場通り」(昭和55年命名)です。この通りの突き当りが、赤レンガ積み垣に囲まれた常盤公園です。この常盤公園、それ以前は浦和地方裁判所・同検察庁があり、江戸時代には「御殿」とか「御林」と呼ばれていました。



「次は二・七市場です。」  
(市場通りの像)



『浦和宿絵図』に描かれた御林



旧浦和地方裁判所庁舎



公園事業「常盤公園」の改修工事完成イメージ

記事協力  
さいたま市立浦和博物館

## 〔仮称〕浦和駅周辺まちづくりビジョン骨子(案)から 浦和駅周辺のまちの将来像

骨子(案)では、まちの将来像について、分野別のコンセプトを整理しています。令和32(2050)年の文化・教育、緑・景観のコンセプトは、次のとおりです。(一部抜粋)

**〔文化・教育〕**  
埼玉県師範学校や浦和絵描き等、歴史・文化・教育資源を尊重・継承し、多様な価値観を受け入れ、グローバルに活躍する人財を育む学びの場がある。

**〔緑・景観〕**  
歴史・文化・スポーツ等、浦和の宝を継承しているまち並みや緑の拠点から、時代を超えた浦和の人の想いがあふれ、まちのストーリーが感じられている。

News!

## 案内板「浦和駅西口ぶらり散歩」を設置



浦和駅西口の魅力が、案内板が駅前設置されました。浦和区民等が組織する浦和区文化の小径づくり推進委員会による、寺社・史跡・公園の歴史、浦和区の特色や歴史を紹介するポットマップです。



文化の小径マップに関する市HPはこちら

浦和駅を訪れた際は、ぜひご覧ください！

「浦和区文化の小径マップ」や動画で、浦和区文化の小径ガイド」でもさらに深く知ることができます。

# 浦和 県都

浦和のまちが県都となった歴史には、様々な浦和の人が貢献していました。浦和市の歴史をまとめた小冊子『浦和市閉市記念『浦和三万年 HISTORY OF URAWA』』からご紹介します。

## 県都・文教都市として

明治元年（一八六八）十月二十七日の夕方、浦和宿本陣星野権兵衛家の門を明治天皇を乗せた鳳輦（みこし）が通りました。その門は、今は大間木の大熊家に残っています。天皇はその夜、星野家に泊まり、翌二十八日、武蔵一宮である大宮の氷川神社に参拝、その夜も浦和宿に戻り、星野家に泊まり、翌二十九日、皇居に戻りました。明治三年にも天皇の氷川行幸があり、同じく、星野本陣を行在所としました。新時代幕開けの一大行事は、このような形で、我が浦和の域も関わっていったのです。



埼玉県庁 埼玉県写真貼（昭和9年発行）



大熊家表門（旧浦和宿本陣表門）

明治政府は、慶応四年（一八六八）三月、旧幕府の高札を撤去し、新たに五枚の高札を掲げました。その一つに「今般王政御一新に付き」という書き出しのものがあり、幕府の政治から天皇の政治に変わったことを人々に知らせたことがわかります。村においては、代官や地頭（旗本）の支配から、県の管轄となりました。このようなことも、役所から来る通知や命令、村から出す届け出などで人々は、世の中が変わったことを感じ取ったことでしょう。また、租税については、明治四年にはすべて金納となりました。

浦和市域は、武蔵知県事の管轄から大宮県となり、明治二年九月二十九日、浦和県と改められ、浦和宿に県庁が置かれることとなりました。ここに県都としての出発点があります。明治四年七月、廃藩置県が断行され、これにより、同年十一月十四日、埼玉県が成立し、浦和県は廃止統合となりましたが、当初、岩槻に置く予定の県庁が、諸事情で「当分の間」旧浦和県庁を使うことになりました。そして、明治九年八月、埼玉県は、熊谷県解体により旧入間県分を編入し、浦和宿はそのまま新埼玉県の県都となりました。しかしその後、県庁移転問題（三回）や廃県問題などが起こり、つねに関係者の懸命の努力と、その時どきの県庁整備に際し浦和が相当な財政負担をすることで乗り切りました。今日なお、浦和は県都であり続けるのです。明治六年、浦和宿本陣内に学校改正局が置かれたのが師範学校の始まりで、同四年に開設された浦和郷学校（高砂小学校の前身）と合わせ、このあたりには浦和の文教都市としての歩みが始まりましたと言えます。

### （仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン骨子（案）から 浦和駅周辺のまちの将来像 **【県都】**

骨子（案）の令和32(2050)年の県都のコンセプトは、次のとおりです。

市民・県民・国民の暮らしを維持・発展させ続けるため、県庁とさいたま新都心にある国の機関が連携し災害対応等の司令塔を担っている。

県都や都心の浦和にある中枢機能を活かしながら、浦和の人や企業は、インクルーシブなモノ・コト・情報等で協力して、地域に貢献している。

浦和の人は、県都の玄関口である浦和駅周辺と県庁や周辺の緑を浦和愛のシンボルとして、風格があるまち並みに、親しみと誇りを持っている。



昭和41年 埼玉県庁

ゼミで議論を重ねた政策提言を  
埼玉県知事に届けた！  
— 知事と埼玉大学学生の意見交換会 —

埼玉大学 埼玉県  
HP HP

令和3年11月4日(木)に意見交換会が開催されました。埼玉大学の学生による提案等をお知らせいただきましたので、ご紹介します。



開催に先立ち、坂井学長より学生に向けて「知事と学生の意見交換は学生の経験値を上げるキャリア教育の場として、本学としても貴重な取組と位置づけています。学生の皆さんはこれまで仲間や指導教員とのディスカッションで得られた様々な成果を全部発表してもらいたい、社会還元に繋げる第一歩にしてもらいたい。」とエールが贈られ、また、大野知事は「新型コロナウイルス感染症がもたらした厳しい状況の中で、例えばデジタルトランスフォーメーションの分野ではこれまで予期しない進展が成し遂げられました。今後、皆さんが生きていく時代では、デジタルトランスフォーメーションに止まらず、地球温暖化、持続的な発展、急激な少子高齢化、更に大きく変化する安全保障、本当に大きな変化が待ち受けています。是非、こういう機会を活かして、改めて皆さんに今後の未来への取組を考えてもらいたい。」と学生への期待を述べました。



埼玉大学 坂井学長

意見交換会では、消防団の加入促進やヤングケアラーへの支援など5テーマについて、学生から提言がありました。その中で、工学部の久保田尚教授、小嶋文准教授ゼミは「県庁舎の再整備に向けた検討」について提言を行いました。



工学部  
久保田尚教授、小嶋文准教授ゼミ  
石川 達也さん、佐々木 敦史さん、  
鷹箸 勝成さん、柴田 大雅さん

県庁舎の再整備に向けた検討

「訪れよう！  
生まれかわった埼玉県庁」

県民が訪れたい県庁舎として、窓口の機能の集約化やオンラインサービスの提供といった利便性向上、庁舎の高層化や広場の整備といった場としての魅力の向上、駅と県庁舎を結ぶ動線の整備を提案。

作成協力

埼玉大学、浦和区文化の小径づくり推進委員会などの皆さんにご協力いただきました。

参考文献等

- 『ウォーク・イン・中山道浦和宿 改訂版』(令和3年3月 さいたま市立博物館)
- 『浦和三万年』(平成13年3月 浦和市)
- 『わがまち浦和 地域別案内(改訂版)』(平成4年3月 浦和市)
- 「昔の浦和の写真」さいたま市アーカイブズセンター

文献を紹介するページに、一部写真等を補足している場合があります。また、紙面構成の都合上、配置を変えて掲載しているものがあります。

令和4年第1弾

令和3年12月にとりまとめた「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(案)」に際して

皆さんの「浦和への思い」を教えてください

現在、まちの将来像やまちづくりの方針を共有することを目的とした「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン」の策定に向けて、募集中です。つきましては、浦和駅周辺のまちづくりに関するアンケートを実施しますので、皆さまのご協力をお願いします。

【あなたについて教えてください。(必須)】  
 19歳以下  20歳～29歳  30歳～39歳  40歳～49歳  
 50歳～59歳  60歳～69歳  70歳～79歳  80歳～

【性別を教えてください。(必須)】  
 男性  女性 (その他(回答しない))

【居住まいを教えてください。(必須)】  
 市街地から徒歩で約30分以内  市街地から徒歩約10分～約15分  
 市街地から徒歩約15分以上  通勤寄り駅は、市街地圏内ではない

【お住まいの環境を教えてください。(必須)】  
 子育て (保育園)  子育て (児童館)  
 マンション等集合住宅 (持ち家)  マンション等集合住宅 (賃貸)  
 住宅、単身  その他 (店舗・事務所併用住宅等)

お問い合わせ さいたま市浦和区総務課 都心整備課 都心整備係  
 〒330-0808 さいたま市浦和区東浦和1-4-4  
 TEL:048-829-1577 FAX:048-829-1937

市庁舎の再整備に関するアンケート調査  
 詳細は、こちら

News!

紙のアンケートも  
協力を願っています。多くの皆さまのご  
実施していただきます。多くの皆さまのご  
市ホームページ等で、アンケートを  
始めました。

皆さんの「浦和への思い」を  
教えてください



アンケート  
回答は、こちら

